

平成 25 年度第 2 回「墨田区子ども・子育て会議」・ 「墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会」議事要旨

日時：平成 25 年 10 月 7 日（月）午後 6 時 30 分～8 時 45 分

会場：墨田区役所 131 会議室

次 第

1 開 会

2 議 題

議 題	資料 No
(1) 今後の子ども・子育て会議の運営のあり方について（ワーキンググループ等の設置）	1・2・3・4
(2) 子ども・子育て支援新制度の概要に関する解説	5
(3) ニーズ調査票の最終案について	6
(4) ニーズ調査の周知対策について	7
(5) 「墨田区待機児童解消計画」策定に伴う「墨田区次世代育成支援後期行動計画」の一部変更について	8・9・10
(6) その他	

3 次期開催予定

日 時：平成 25 年 12 月 2 日（月）午後 6 時 30 分～8 時 30 分

会 場：すみだリバーサイドホール（イベントホール）

主な議題：ニーズ調査の集計結果（速報）の提示等について

4 閉会

配布資料

- 資料 1 今後のスケジュール
- 資料 2 墨田区子ども・子育て会議とワーキンググループ等の関連図（イメージ）
- 資料 3 ワーキンググループごとに分類した次世代育成支援行動計画の主な事業（案）
- 資料 4 墨田区子ども・子育て会議ワーキンググループ別名簿（案）
- 資料 5 子ども・子育て支援新制度の概要に関する解説資料（国の子ども・子育て会議資料抜粋）
- 資料 6 ニーズ調査票（最終案）
- 資料 7 ニーズ調査のPRチラシ
- 資料 8 墨田区待機児童解消計画【概要】
- 資料 9 墨田区待機児童解消計画 ～待機児童「ゼロ」の実現に向けて～
- 資料 10 墨田区次世代育成支援後期行動計画（平成 22 年度～平成 26 年度）の一部変更内容

出席者（敬称略）

○委員

大豆生田 啓友（玉川大学教育学部乳幼児発達学科准教授）

野原 健治（興望館館長）

高嶋 景子（田園調布学園大学子ども未来学部子ども未来学科准教授）
長田 朋久（横川さくら保育園長）
西島 由美（にしじま小児科院長）
鈴木 寛子（あさひ幼稚園副園長）
服部 榮（社会福祉法人 雲柱社理事長）
財津 亜紀子（文花子育てひろば施設長）
野口 悦子（主任児童委員）
工藤 和俊（小学校PTA協議会会長）
早川 和宏（中学校PTA連合会会長）
内田 淳（青少年委員協議会委員）
小菅 崇行（小菅株式会社代表取締役会長）
金子 里美（NTT労働組合東京支部執行委員）
賀川 祐二（NPO法人 病児保育を作る会代表理事）
貞松 成（株式会社 global bridge 代表取締役）
佐藤 摩耶子（公募）
多胡 晴子（公募）
徳野 奈穂子（公募）
福田 三加代（公募）
藤方 洋子（八広幼稚園長）
岡墻 克純（両国小学校長）
長谷川 晋也（文花中学校長）
青塚 史子（太平保育園長）

<欠席委員>

森 八一（青少年育成委員会連絡協議会副会長）
佐藤 まり子（ムーミン保育室施設長）
本多 美絵子（両国幼稚園副園長）
荘司 美幸（公募）

<傍聴>

合計7名（男性1名、女性6名）

○部課長出席者

小暮 真人（教育委員会事務局次長）、中橋 猛（保健衛生担当部長）、大滝 信一（福祉保健部長）、関口芳正（子育て支援担当部長）、小倉 孝弘（子育て計画課長）、鈴木 一郎（児童・保育課長）、内田 正代（子育て支援総合センター館長）

○事務局出席者

浦辺、井場、田村、松田、遠藤

○事務局（株ぎょうせい）

黒澤・中村

1. 開 会

会長	開会する。
事務局	出席状況について、現在の時刻では委員 28 名中 23 名が出席し、定足数を満たしているので会議は有効に成立している。傍聴者、撮影、録音を行うので了承願いたい。第 1 回議事録を委員に送付したが特段修正等はなかった。

2. 議題

(1) 今後の子ども・子育て会議の運営のあり方について（ワーキンググループ等の設置）

会長	<p>前回、会長副会長が選任され、その後、事務局と協議した。今後の見通しを考えると協議が膨大で重要で、進め方をつめていかなければならないからだ。</p> <p>今後、子ども・子育てに大きな予算が投入され、重要なことを決める役割が子ども・子育て会議に委ねられているが、会議日程が限られている。決められた会議で重要な決定を行うことが難しい。効率的であり、委員の意見をはじめ区民の声を集める仕組みを考えてきた。その提案が議題（1）である。</p> <p>他区とくらべると墨田区は子ども・子育て会議委員が 28 人と多い。</p> <p>そこでワーキンググループの設置を提案する。部会の考え方もあるが、これまで区ではワーキンググループで意見を出し合ってきた。ワーキンググループを設置し具体的な内容について意見を出してもらおう。他の自治体の動向も勘案し、大きく 2 つのワーキンググループを提案する。資料 2 を見てほしい。</p> <p>1 点目の提案は、乳幼児と学齢の「ワーキンググループ」を設置したい。</p> <p>2 点目の提案は、効率的に運営するため、ワーキンググループの上に素案づくりを行う「企画会」を位置づけたい。</p> <p>3 点目の提案は、急遽進めたいことが出てくると予想されるので、「臨時会」を招集したい。</p> <p>以上 3 つの仕組みの提案について意見があるか。事務局にも補足願いたい。</p>
事務局	企画会について、会長、副会長のほか認定こども園関係で本多委員の名が出ているが、いかがか。
会長	この後に提示する。 <異議なし>

	<p>承認いただいたこととする。</p> <p>付随して、乳幼児と学齢のワーキンググループに会長、副会長以外でふさわしい方をお願いしたい。</p> <p>乳幼児のワーキンググループは保育所や制度の関係に詳しい長田委員に、学齢のワーキンググループは児童福祉分野で活躍されている服部委員に、座長をお願いしたい。</p> <p>同様に企画会に、認定こども園関係の本多委員に入っていただきたい。</p> <p>この点についていかがか。</p> <p><異議なし></p>
--	---

(2) 子ども・子育て支援新制度の概要に関する解説

会長	<p>国の制度がわかりにくいので、共通理解のため新制度について長田委員に説明をお願いしたい。</p>
長田委員	<p>保育園の東京都の団体の事務局長、さらに全国の認可保育園の保育制度検討委員会委員をしているので、子ども・子育て関連3法との関わりがある。私なりの説明を行いたい。</p> <p>資料5について説明</p>
会長	<p>質問はあるか。この説明で会議の進め方の見通しにつながったと思う。</p> <p><質問なし></p>

(3) ニーズ調査票の最終案について

会長	<p>前回たたき台を提示し、事務局が委員からの意見をまとめた。当初は会長、副会長が責任をもつということであったが、なるべく多くの委員にやりとりに参加して欲しいので、急遽、声をかけ、意見をいただいた。そのことも含め、事務局に説明願いたい。</p>
事務局	<p>8月23日に事務局案として3種類を提示した。会議でも意見があり、後日、事務局に要望があった。その後、出席できる委員が集まり、9月30日に会議を開き、それを踏まえたものが今回、最終案として提示したものである。</p> <p>資料6について説明</p> <p>乳幼児調査の実施方針として、区では必須項目のほか任意項目も取り入れた。また次世代計画の成果指標や総括する質問も入れている。</p> <p><乳幼児調査の第1回会議からの相違点について説明></p> <p>用語の説明や区の事業を記載、問9地区設問の変更、問10世帯の総収入設問追加（収入の多寡と保育ニーズを分析するため、住まいの設問は種類が多く分析しきれないので省いた）（修正の問12、問13、問16、問17、問18、問19、問21、問22、問26、問27、問28、問29、問31、問34、問36、問37、問52、問54について説明）</p> <p><小学生調査の第1回会議からの相違点について説明></p> <p>問5・問6（乳幼児と同様）、問9、問15を修正。問19は放課後の過ごし方で、放課後子ども教室の追加提示があったが、反映していない。その他で対応したい。問29を修正。問32について、携帯電話のフィルタリング、使いすぎ防止機能の設置について、3を「その他」とした方がいいのではないかと提案があったが、前回の調査と整合させ現行のままとした。</p> <p>問34（乳幼児と同様修正）、問39、問40、問55を修正。</p>

	<p><成人前調査の第1回会議からの相違点について説明> (挨拶文、修正点の問9、問15、問16、問17について説明) 調査の全般的に、障害の「害」はひらがな表記との質問があったが、区の障害者計画では漢字を使用しており、区の組織も漢字であるので現行のままとすることとした。</p>
会長	今回の調査票は多くの委員が丁寧にみて、それを反映したものである。さらに気づいた点や意見があればお願いします。
委員	小学生調査の放課後の居場所の問54と問55について、「祖父母宅や友人・知人宅」とあるが、親戚の家と知り合いの家では微妙に違うのではないかと。先に言わなくて申し訳ないが。親兄弟に預けるのは比較的安心だが、それができなくて、子どもが勝手に友だちの家に上がり込むことがあり、親同士の問題となっている。ニーズを聞くのなら、ほんとは違うのではないかと思った。
会長	<p>提示された意見でなるほどそうなら反映するであろうが、入るかどうかの物理的な問題もある。今の意見についてフォローされる意見があるか。</p> <p><意見なし></p> <p>意見がない場合は必要ないと判断する。</p> <p>これが最終のものであるので、他のところで気づいた点があれば意見をお願いします。</p>
委員	前回の案で、乳幼児と小学生の最後にあった、充実していくべき施策の設問はなくなったのか。
事務局	第1回の資料の問56と問52は合体し、今回の資料では新しく問52と問53とした。
会長	質問が多いので同じようなものは省かないといけないというケースに該当する。結果として問52が生かされたことになる。この設問は国の設問なのか。
事務局	資料6のA3版の資料をご覧いただきたい。問52は次世代の前の設問であり、国の必須項目でも任意項目でもない。
委員	小学生調査の問36について違和感がある。父親の協力度を問うているが、母親が回答した場合にぴんと来ない。
事務局	修正漏れであり、乳幼児調査の問36と同じである。
会長	ご指摘ありがたい。
委員	<p>乳幼児調査問16と問17について、前回の資料では「子どもが病気の時に利用できない」とあるが、今回は満足度となっており、利用できないことは出てこない。</p> <p>病気児に接しているが、母親が最も心配することは明日、保育園に行かれるのかである。そのことの満足度を聞いていない。問17では病気で休むことは聞いていないが、休む日数が少なくても仕事を休めない人もいる。問16でそのことへの不満をきくことができないのか。不満の一番にあがるのではないかと。</p>
会長	代わる文言があるか。
委員	「病気のときにどこかに紹介できる」ことについて、満足かどうかを聞いたらどうか。
会長	スペースとして入れることは可能であろう。
事務局	国の設問項目ではなく、新たに設けた設問である。問16に委員からの指摘をどう入れるかだ。
委員	「病気のときの保育について」でいいのではないかと。
会長	文言について検討の可能性はあると思うが、このことを入れることについて意見はあるか。

事務局	問 16 は定期的な教育・保育事業の満足度であり、その項目を入れるかは課題となる。
会長	病児・病後児保育に関する墨田区の施策が満足かどうかをどこかで拾えていれば施策に反映できる。他の設問でそれが網羅できるのか。
委員	問 17 の下で、「墨田区では病児は預かっていない」とあるが区外のものを利用と考えてよいか。
事務局	区外の利用を想定している。
委員	2歳の子どもがおり、0～1歳のときよく熱が出た。墨田区の保育園では37度5分では預かれないと決められている。基本的には保育園では預かれないが、迎えまでの時間は預かるといわれる。親としては預かってもらいたいと思うが、保育園の規則であるし、万が一けいれんなどが起きたら責任がとれないといわれるであろう。 そこで問 16 は「子どもの体調や機嫌に応じた対応」はいかがか。 病気の子どもを預かってくれるところがどこにもないのが実態だ。
事務局	保育園では、一律に37度5分の基準は設けていない。
会長	園によって対応は様々で、大事な話である。 「子どもが病気のときの対応」とした時に、定期的な教育・保育の事業で意味があるのか。
事務局	定期的な利用について表現は工夫するが、問 16 は要望を入れる方向で協議する。
会長	入れることでよいか。 <異議なし> 事務局には最終確認してほしい。会議後に事務局で修正あった場合には知らせることとして、この最終案を決定と了承願いたい。 <異議なし>

(4) ニーズ調査の周知対策について

事務局	資料 7 について説明 9月30日の会議で意見があったものを修正した資料である。 「墨田区のニーズ調査」ではわかりにくいとの委員指摘により、修正した。また、字を大きくした。 このチラシを小学校、幼稚園、保育園等のほか、透明な封筒にティッシュと縮小した案内を入れ、区役所内、児童館、保健センター、地域プラザ、出張所等で配布する。
会長	回収率が問題となったので、意見を出し合ったことによるチラシの修正である。わかりやすくなったと思う。意見はあるか。 <異議なし> これで進めさせていただくが、委員には呼びかけてもらいたい。 どこで誰に配るのか、事務局に説明願いたい。
事務局	小さなお子さんがいる知り合いがあればと思い配布するものである。
委員	配布先がランダムでは無駄ではないか。
事務局	抽出による調査であるので、チラシをもらった人がアンケートをするわけではないが、調査をしていることのPRを兼ねている。理解願いたい。
会長	墨田区民みんなで作っていくというメッセージが大事であるという意図だ。

(5) 「墨田区待機児童解消計画」策定に伴う「墨田区次世代育成支援後期行動計画」の一部変更について

事務局	資料 8（資料 9 の概要版）、資料 9、資料 10 について説明
会長	質問あるか。 <質問なし>

(6) その他

会長	資料 4 について、議題（1）で提案したワーキンググループの名簿である。 立場で分けさせていただいたが、希望を受けることは可能であるので事務局に伝えてほしい。 乳幼児の方は仕事量が多いので人数も多くなる配分と考えている。 2 点目は、承認いただいた臨時会を必要に応じて開催したい。今月は 10 月 28 日（月）午後 6 時半から 8 時まで、区役所 123 会議室で開催する。正式には事務局から連絡いただくことでよいか。
事務局	あらためて開催通知を送る。
会長	資料 1 で詳細な今後の見通しが提示された。後でみてほしい。 長田委員からも説明があったように、乳幼児の保育に関する計画整理が大きなテーマになり、その作業が大きな仕事になる。子ども・子育て会議のミッションは子どもの最善の利益のために社会で支えていくことにある。保育整備は重要だが、地域の子育て環境が大事で、これを会議で話すことは難しい。墨田区の子育て環境について、多くの意見を出してほしい。最初の段階で話をしないと作業に入ってしまうので、第 3 回の会議前に率直な意見を聞きたかった。副会長、事務局と相談した提案である。 これについて意見や質問があるか。
委員	開催は月曜日なのか。
会長	月曜日でない日にも配分するよう努力する。メールでも構わないので意見をいただきたい。
事務局	ワーキンググループや臨時会は報酬が出ない。任意で自主的な無報酬の会議体となるがよろしいか。
副会長	みなさんに賛成いただけたと思うが、これから先がみえない、また作業的なことが多くなるので、大きな構えとして乳幼児と学齢のワーキンググループで分けた。事務的なことが多くなり、さらに分かれてくるだろう。 国が定めているので時間に限りがあり、会議をこなすだけでなく、忌憚のない議論、理念的・実務的なことを語り合いたいので、その都度、臨時会をよびかけていったらどうかと会長と話し合った。会長、副会長が必要と認めた場合、ワーキンググループと臨時会を開催するが、ボランティアでお願いしたい。
長田委員	ワーキンググループ別名簿（案）資料 4 について、乳幼児のワーキンググループの座長に指名された。委員の振り分けは事務局で作成したと思うが、この通りやっていくと決まったのか。肩書きのある人はいいと思うが、公募委員 5 人が全員、乳幼児に振り分けられている。これでいいのだろうか。
会長	一般公募委員の基準が「乳幼児のいる方」であったからである。全員が入ることはどうかと思うので相談させてほしい。
事務局	ワーキンググループの振り分けの変更は 10 月 11 日金曜日までに申し出てほしい。

副会長	国からいろいろ示され、11月には調査が行われ、年明けは忙しくなるだろう。 1月以降、国から検討すべき課題が下りてくるので、準備として子育て観や区の子育て環境について考える、学びの時間と意見表明の時間を年内にたっぷりとりたい。
事務局	今回は12月2日（月）午後6時半から、すみだリバーサイドホールで行う。 主な議題はニーズ調査の集計速報である。 空調工事で暖房がきかないのでご配慮願いたい。調整がつけばこの部屋に変更となることもある。

以 上